

“地域の見守り力”を高めていきましょう

高齢者が地域で孤立することなく、安心して暮らしていくためには、“地域の見守り力”を高めることが大切です。2・3面では、そのための拠点である「高齢者みまもり相談室」と、日ごろから見守りをを行っている方の活動をご紹介します。

核家族化の進行などを背景に、地域における人間関係の希薄化が進んでいます。さらに、病気や身体の衰え等の理由で、近隣住民と交流する機会が減り、地域の中で社会的に孤

立してしまう高齢者が少なくありません。そして、ひとり暮らしの高齢者や65歳以上の高齢者のみの世帯が年々増えていることもあり、助け合

いの精神が息づくすみだでも、地域全体で高齢者を見守り、支えていく仕組みづくりが課題となっています。そこで区では、「高齢者みまもり相談室」の設置をはじめ、地域での見守

りの輪を広げる施策を進めています。“地域の見守り力”を高め、地域全体で高齢者を支えていきましょう。**【問合せ】**高齢者福祉課相談係 ☎5608-6920

「高齢者みまもり相談室」は地域の見守りの拠点です

区では、地域全体で高齢者を見守る仕組みを作るため、区内8か所に「高齢者みまもり相談室」を設置しています。各相談室では、町会・自治会などの集いに職員が出向き、地域における見守りのポイント等を伝える「みまもり講座」の開催や、ボランティアとして地域で活動する「見守り協力員」の育成など、様々な取組を行っています。また、相談員が65歳以上の高

齢者を訪問し、生活の実態調査を行うことで、社会的に孤立している疑いのある高齢者を把握し、必要な支援につなげています。そのほか、高齢者本人やその家族、地域の方からの相談を受け付けており、高齢者支援総合センターなどの関係機関と連携しながら適切に対応しています。心配なことや気付いたことがありましたら、お気軽にご相談ください。

暮らしに役立つ情報が満載の「みまもりだより」

各相談室では、高齢者の皆さんに役立つ情報が満載の「みまもりだより」を毎月1回発行しています。相談室ごとに地域の取組や、知って得する情報などを紹介していますので、ご活用ください。**【配布場所】**各高齢者みまもり相談室、高齢者福祉課(区役所4階)ほか**【問合せ】**各高齢者みまもり相談室



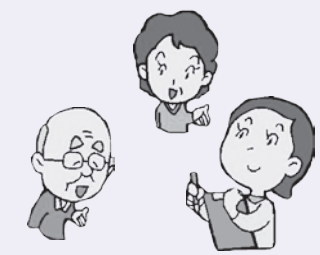
■高齢者みまもり相談室の一覧

【受付時間】月曜日～金曜日午前9時～午後5時(年末年始・祝日を除く)

| 担当地域 | 名称 | 所在地 | 電話番号 |
|---------------------|-----------------|-----------------------------|------------|
| 両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋 | みどり高齢者みまもり相談室 | 緑2-5-12・オウトピアみどり苑内 | ☎5625-6551 |
| 横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋 | 同愛高齢者みまもり相談室 | 横網2-1-11・同愛記念ホーム内 | ☎3625-6421 |
| 錦糸、太平、横川、業平 | なりひら高齢者みまもり相談室 | 業平5-6-2・なりひらホーム内 | ☎5809-7400 |
| 向島、押上 | こうめ高齢者みまもり相談室 | 向島3-36-7・すみだ福祉保健センター内 | ☎5619-6511 |
| 東向島、京島 | むこうじま高齢者みまもり相談室 | 東向島2-36-11・ベレール向島内 | ☎6657-2731 |
| 堤通、墨田、東向島四丁目 | うめわか高齢者みまもり相談室 | 墨田1-4-4・シルバープラザ梅若内 | ☎5630-6511 |
| 文花、立花 | 文花高齢者みまもり相談室 | 文花1-32-1-101・墨田区シルバー人材センター内 | ☎3614-6511 |
| 八広、東墨田 | はなみずき高齢者みまもり相談室 | 八広3-22-14・はなみずきホーム内 | ☎3614-1465 |

聴き取り調査にご協力ください

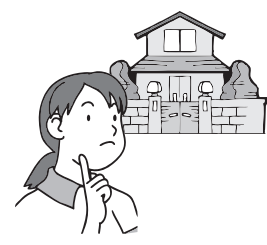
高齢者みまもり相談室では、65歳以上の高齢者に対して、生活状況や困りごとの有無などを確認するため、相談員が訪問して聴き取り調査を行っています。支援が必要な方の把握に努め、災害時の安否確認等に役立てるための大切な調査ですので、ぜひ、ご協力ください。



こんなことに気付いたら、高齢者みまもり相談室へご連絡ください



新聞や郵便物などが郵便受けにたまっている。



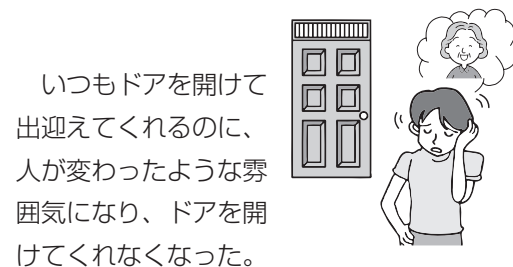
訪問したが、応答がない。または、ここ数日顔を見ていない。



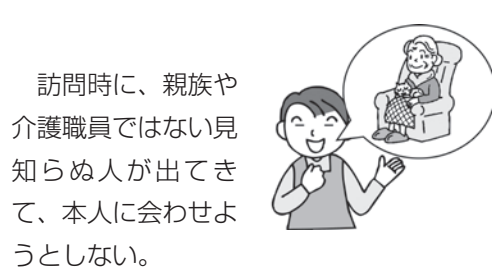
髪の毛をボサボサにしていたり、いつも同じ服を着ていたりする。また、以前よりも動作が遅くなった。



つじつまが合わないことを言うようになった。または、同じことを繰り返して話すようになった。



いつもドアを開けて出迎えてくれるのに、人が変わったような雰囲気になり、ドアを開けてくれなくなった。



訪問時に、親族や介護職員ではない見知らぬ人が出てきて、本人に合わせようとしないうし。

“地域の見守り力”の向上、高齢者の安心な暮らしのためにご活用ください

■みまもり講座

相談室の職員が町会・自治会や老人クラブ、集合住宅の管理組合などの集いに出向き、地域における見守りのポイントや取組事例を紹介する講座です。ご近所で高齢者を見守

る仕組みづくりに、ぜひ、お役立てください。詳しくは、お住まいの地域を担当する高齢者みまもり相談室へお問い合わせください。

■緊急通報システム

専用通報機またはペンダント型通報機のボタンを押すことにより、受信センターへ通報ができるシステムです。必要に応じて現場急行員の派遣や救急車の手配をしてもらえらるほか、健康相談もできますので、ぜひ、ご活用ください。**【対象】**区内在住の65歳以上で、固定電話をお持ちの方 *費用等の詳細は申込先へ**【申込み】**随時、高齢者

福祉課相談係(区役所4階) ☎5608-6170または、お住まいの地域を担当する高齢者みまもり相談室へ



緊急通報システムの専用通報機(左)とペンダント型通報機(右)

■見守り協力員

高齢者みまもり相談室と連携し、地域の高齢者への声掛けや訪問などを行います。区では現在、この「見守り協力員」を募集しています。事前に研修を受け、区に登録したうえ

で、協力員として活動していただきますので、地域の見守り活動に関心のある方は、お住まいの地域を担当する高齢者みまもり相談室へお問い合わせください。

緊急通報システムの3つの安心

■緊急通報で安心

「緊急ボタン」を押すと、受信センターとつながり、看護師や保健師、心理カウンセラー等の資格を持つ専門スタッフが24時間体制で対応します。また、現場急行員の派遣や救急車の手配を行うほか、親族などへも連絡するので、緊急時でも安心です。

■健康相談で安心

「相談ボタン」を押すと、専門スタッフに健康相談ができるので、気になることがあっても安心です。

■安否確認で安心

通報がなくても3か月に1回、受信センターから安否確認のための電話がかかってくるので、緊急時以外でも安心です。

地域での見守り活動に取り組んでいる方にお話を伺いました

あいさつやちょっとした会話が孤立の解消へとつながります

白鬚東地区自治会連合会会長 佐々木 征紀さん(堤通二丁目在住)

孤独死を伝えるニュースの中で、「新聞がたまっている」、「何日も姿を見ていない」といった異変に「誰も気付いていなかった」という話を聞かされたとき、私の住む地域でも何か対策を立てなくてはと思っていました。

そこで取り組んだのが、会ったらお互いに声を掛ける「あいさつ運動」です。「あいさつがきっかけとなり、ちょっとした会話もするようになった」という声が多く、取り組んで良かったと思っています。隣近所に誰が住んでいるかもわからないような状態では、異変があったとしても気付くことができませんからね。

また、何かあったときの安心のために、皆さんに「緊急通報システム」の設置を勧めています。最初は受け入れてもらえないこともありましたが、システムの利点などを根気よく話すことで、少しずつ受け入れてもらいました。

そのほか、自治会で「サポート隊」を結成し、「見守りをしてほしい」という方を訪問しています。日ごろ近隣の方との交流があまりないせいか、私たちの訪問を心待ちにしてくれている方もいるんですよ。

そこで感じるのは、「誰かと話をしたいけど、どうしたらいいかわからない」ために、結果とし



て孤立してしまう方もいるということです。だからこそ、あいさつやちょっとした会話が孤立を解消するきっかけになることがあるのではと思っています。これからもみんなが安心して暮らせるよう、根気よく取り組んでいきます。

地域に暮らす私たちだからこそ、“普段と違う”様子が気付くことができます

見守り協力員 奈良君子さん(立花四丁目在住)

民生委員を務めていた経験を活かし、3年前から「見守り協力員」として活動しています。みまも

り相談室から「様子を見に行ってもらいたい方がいる」という連絡を受けて訪問するほか、近隣の方の様子で気になったことや、気付いたことをみまもり相談室に報告しています。また、協力員同士で、望ましい対応などについて事例を挙げて話し合う勉強会も行っています。

見守りをする上で心掛けていることは、まず、見守る相手とよい関係を築くということです。そのためには、いきなり本題に入るのではなく、「体調はいかがですか」、「寒くないですか」など、さりげない一言から少しずつ話を始めるようにしています。そして、話を丁寧に聴き、相手のことをよく理解するとともに、相手の考えを尊重するこ

とも大切です。さらに、たとえ小さな変化であっても、「普段と違う」ことを見逃さないようにしています。早い段階で対応できれば、深刻な問題にならないで済むことも多いですからね。同じ地域に暮らす私たちだからこそ、「普段と違う」様子が気付くことができるのだと思っています。

見守りは、高齢者が地域で安心して暮らしていくために大切なことだと考えていますので、これからも長く続けられるよう、無理なく、自然体で活動していきたいです。

